

「マンガ orange 舞台探訪 A1-A2 (にほんごいってみよう) 自習コース」

—「JF にほんご e ラーニング みなと」海外拠点初のオリジナルコース開発—

関山聡之・ルキッラック トリッティマー

1. 開発の背景

国際交流基金は、日本語が学べる教室に通うことが困難な学習者や、これから日本語を学びたいという潜在的な学習者を対象とした「JF e ラーニング総合プロジェクト」を推進している。2016年7月より当プロジェクトの一つである日本語学習のためのプラットフォーム「JF にほんご e ラーニング みなと」(以下「みなと」)(<https://minato-jf.jp>)の運用を開始し、数々のオンラインコースを公開している。2017年度以降は多言語化を進め、国際交流基金の海外拠点でも、オリジナルコースの開発と運用が可能となった。

筆者が所属しているバンコク日本文化センターでは、世界第6位の学習者数を誇るタイの日本語学習者(国際交流基金 2017)が興味を持って利用できるようなオリジナルの自習コースの開発と運用を前提として、どのような内容のコースが当地の学習者に相応しいかを模索し、2018年3月より「マンガ orange 舞台探訪 A1-A2 (にほんごいってみよう) 自習コース」の運用を開始した。これは、国際交流基金の海外拠点としては初のオリジナルコース開発の試みである。

2. 開発の方針

本コースを開発するにあたり、①全ての日本語学習希望者に受講機会を与える「自習コース」であること、②自学自習が継続できる内容であること、③実際の日本語使用場面をイメージしながら練習ができる内容であることの3つを開発の方針とした。これらの方針とした理由は以下のとおりである。

① 全ての日本語学習希望者に受講機会を与える「自習コース」であること

「みなと」上に開発できるコースタイプには、「自習コース」と「教師サポート付きコース」がある。「自習コース」はいつでも受講が開始でき、受講期間の中で自分のペースで学ぶことができる完全自学自習コースであり、「教師サポート付きコース」は「自習コース」に教師によるサポートが付いた定員制のコースで、「みなと」上で受講申し込みを行い、抽選後、選ばれた受講者が決められたスケジュールに沿って学びを進めるものである(千葉ほか 2018)。「み

など」が地理的、時間的制約等により、日本語の教室に通うことができない学習者やこれから日本語学習を始めたいという人を主な対象としている(武田ほか 2017)ことから、本コースは、申し込んだ全ての人々に受講の門戸を開くことが可能な「自習コース」とした。

② 自学自習が継続できる内容であること

オンラインでの学習は、簡単に始められるという長所がある反面、やめるのも簡単で、継続するのが難しいという特徴を併せ持っている(武田ほか 2017)ため、オーセンティックな素材を利用して、受講者が飽きずに自学自習を継続できる内容のコースとすることを目標とした。

③ 実際の日本語使用場面をイメージしながら練習ができる内容であること

2012年度の「日本語教育機関調査」(国際交流基金 2013)では、タイ人の日本語学習目的として「日本語でのコミュニケーション」が上位にランクインした¹⁾。そのため、本コースで学習したことを実際の場面で使えるような練習を取り入れ、日本語で「できる」を実感しながら学習が進められるものを目指した。

3. オリジナルコースの概要

3.1 コンセプト

3つの開発の方針を踏まえ、本コースのコンテンツのコンセプトについて考察した。

オンラインコースが持つ「継続するのが難しい」という短所を補うには、受講者の興味を惹きつけ、飽きさせないコンテンツをコースに取り入れることが必要である。そこで、本コースはコンテンツのコンセプトについて、タイ人の日本語学習目的(国際交流基金「日本語教育 国・地域別情報 タイ(2016年度)」)から検討した。その目的の上位にある「アニメ・マンガ」、「旅行」、「日本語でのコミュニケーション」というキーワードと、さらに「旅行」のスタイルから「写真」というキーワードを結び付けた。このような経緯で、コンテンツのコンセプトを①マンガの舞台探訪、②写真撮影、③日本語でのコミュニケーションの3つとした。

① マンガの舞台探訪

さきのタイ人の日本語学習目的では、「マンガ・アニメ・J-POP等が好きだから」「旅行」が上位にランクインしており、マンガの舞台探訪というコンセプトが開発方針②の「自学自習が継続できる内容」に相応しいと判断した。

また、その舞台の地としては、「長野県松本市」とした。「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査(平成28年版)」(日本政策投資銀行・日本交通公社)によると、「行ってみたい日本の観光地のイメージ」という項目で、タイ人訪日客が挙げたのが「富士山」「桜」「温泉」「日本的な街並み」「城」「紅葉」「雪景色」であり、松本が持っている観光資源と重なる点が多かったためである。

マンガには、『orange』(高野苺/双葉社)を選んだ。松本を舞台にしたマンガの中で、タ

イ語版がタイ国内で販売されており⁽²⁾、松本市観光案内所等で、『orange』舞台探訪用の地図⁽³⁾を入手できるためである。マンガ『orange』のジャンル、登場人物、あらすじについては、表1にまとめる。

表1 マンガ『orange』の概要(「高野莓『orange』特設サイト」より)

ジャンル	青春 SF ラブストーリー
登場人物	<p>高宮菜穂^{たかみや なほ}…控えめな性格で、自分よりも他人の幸せを優先してしまう。</p> <p>転校生の翔^{かける}に恋をする。</p> <p>成瀬 翔^{なるせ かける}…東京からの転校生。母親の自殺が原因で心に闇を抱えている。</p> <p>10年後にはいないと手紙に書かれている。</p>
あらすじ	<p>高校二年生の春、菜穂の元に10年後の自分から1通の手紙が届いた。そこには、これから起こる未来の出来事と、自分とは同じ「後悔」を繰り返さないためにとるべき行動が書かれていた。初めはイタズラかと思ったが、書かれている事が次々と起こるので次第に手紙を信じるようになっていく菜穂。そしてこの手紙の目的が、同級生の翔を事故死から救うためだと知り、菜穂は翔を失わないために、自分を変えて未来を変えようと努力していく。</p>

② 写真撮影

旅先から旅行体験と「写真・画像」を SNS で発信するタイ人旅行者が多く、旅行の情報源として SNS の情報を頼りにする傾向があるため⁽⁴⁾、コンテンツのコンセプト①マンガの舞台探訪と合わせて写真撮影のコーナーを作成することで、受講者の興味を惹きやすくなるのではないかと考えた。

③ 日本語でのコミュニケーション

「2. 開発の方針」で触れたとおり、タイ人の日本語学習目的で「日本語でのコミュニケーション」が上位にランクインしているため、開発方針③の「実際の日本語使用場面をイメージしながら練習ができる内容」として、動画を使ってインタラクティブに日本語学習ができることを目指した。

3.2 コンテンツとストーリー

本コースは16ステップのコンテンツで構成されている。

ステップ1の「Introduction」では、本コースのコンセプトや学習方法などについて説明している。ステップ2から15までは、3.1で述べた3つのコンセプト（①マンガの舞台探訪、②写真撮影、③日本語でのコミュニケーション）を踏まえた「ストーリー」の展開中に出てくる「日本語使用場面」に基づいて分けた7つの「STAGE」と、各 STAGE で学習した日本語やストーリーにまつわる問題を載せた「STAGE QUIZ」である。「STAGE1」の次に「STAGE1 QUIZ」、

「STAGE2」の次に「STAGE2 QUIZ」というように、ステップ15まで交互に続く。最後のステップ16は、修了者がアンケートに回答する「Questionnaire」である。以下、詳細を述べる。

Introduction (ステップ1) と STAGE1~7 (ステップ2、4、6、8、10、12、14) は動画からなる。受講者は動画による自動的な進行に沿って学習を進める。ただ、文字を読み進めなければならない箇所や、発話するように意図した箇所では、数秒間のポーズを確保し、受講者の学習を妨げないような工夫をしている。

STAGE1~7の「ストーリー」は、キャラクター (図1) がやりとりしながら、マンガ『orange』に出てくる松本の場所を写真を撮って巡り、道中、日本語を使用する場面に遭遇するというものにした。このキャラクターには、「熊 (くまたん)」と「うさぎ (うさみちゃん)」のイラスト素材⁽⁵⁾を使用している。「タイ人のライフスタイルと海外旅行調査」(JTB 総合研究所)によると、タイ人訪日客のよく旅行に一緒にでかける同行者は、順に「友人との旅行」



図1 キャラクター

(42.8%)、「夫婦・カップルのみの旅行」(42.2%)であることから、キャラクターの関係性については、友人ともカップルともとれる設定としている。

このストーリーの展開の中で、マンガに出てくる場所で写真を撮るという場面では「orange 写真をとろう!」、道中で日本語使用場面に遭遇する場面では「NIHON-GO Survival」というコーナーを挿入した。また、各 STAGE のストーリー上に出てくる場所等に関する情報(タイ語・英語)を松本市公式観光情報ポータルサイト「新まつもと物語」(<https://visitmatsumoto.com/>)の URL と QR コードを付けて紹介する「Tourist Spot Links」というコーナーも、適宜コンテンツ内に組み入れた。

STAGE1~7の QUIZ (ステップ3、5、7、9、11、13、15) では、タイ語と一部アルファベット、数字表記による多肢選択式の設問を作成した。また、画像を埋め込んだ設問もある。図2は、その一例である。



図2 「STAGE QUIZ」の一例 (STAGE3より)

最後の Questionnaire (ステップ16) では、今後、開発するコースのテーマを決める上で参考とするために、タイ人の興味があるものについて問う設問(複数回答可)を載せた。

以下、表2には、各ステップのコンテンツと各 STAGE のストーリーの概要、構成するコーナーとその概要についてまとめる。

表2 各ステップの構成と概要

ステップ	コンテンツ	ストーリー	コーナー	コーナーの概要
1	Introduction (動画)			
2	STAGE1 (動画)	マンガ『orange』の舞台探訪の旅に出る。新宿駅で切符とお弁当を購入し、電車に乗り込む。	NIHON-GO Survival	新宿駅のみどりの窓口で、予め乗りたい電車の時間と希望座席等を記入した紙を渡して「これください」と言って切符を購入するときのフレーズを学習する。また、同じフレーズを使用する応用場面として、レストランで店員に注文をする場面の練習を設けた。
3	STAGE1 QUIZ			
4	STAGE2 (動画)	松本駅に到着。駅構内の観光案内所に地図をもらいに行く。	NIHON-GO Survival	松本市観光案内所で「英語の地図ありますか」と言って、目当てのものがあるか確認するフレーズを学習する。また、マンガ『orange』の舞台探訪用の地図やタイ語の地図、パンフレットといった語彙を代入して練習する。
			Tourist Spot Links	「松本市」、「松本市の公共交通機関」、「温泉」の情報にアクセス。
5	STAGE2 QUIZ			
6	STAGE3 (動画)	松本散策をする前に、神社（四柱神社）で旅の安全を祈願する。近所の着物レンタルショップに行き、浴衣などを借りる。コスプレをして松本城に行く。	orange 写真を撮ろう！	マンガ『orange』に出てくる四柱神社の絵と、四柱神社で撮影した写真を載せている。また、四柱神社の情報も紹介している。
			NIHON-GO Survival	着物レンタルショップで「すみません、着物レンタルできますか」と言って、レンタルしたいという意味を伝えるときのフレーズを学習する。また、浴衣、袴、忍者といった衣装に関する語彙を代入して練習する。
			Tourist Spot Links	「着物レンタルショップ」の情報にアクセス。
			orange 写真を撮ろう！	マンガ『orange』に出てくる松本城の絵と、松本城で撮影した写真を載せている。
			Tourist Spot Links	「松本城」の情報にアクセス。
7	STAGE3 QUIZ			
8	STAGE4 (動画)	松本城をあとにして、近くの商店街（縄手通り）にお土産を買いに行く。そこで、かわいい財布を発見する。	NIHON-GO Survival	縄手通りの土産物店で「すみません、これいくらですか」と言って、ものの値段を聞くときのフレーズを学習する。また、応用として「これ1ついくらですか」と、助数詞（1つ～3つ）を代入して練習する。
			Tourist Spot Links	「縄手通り」の情報にアクセス。
9	STAGE4 QUIZ			





ステップ	コンテンツ	ストーリー	コーナー	コーナーの概要
10	STAGE5 (動画)	マンガ『orange』に出てくる橋に行きたい。近くにあるはずだが、地図を見てもわからない。土産物店の店員に場所を尋ねる。そのあと、いくつかの場所で写真撮影をしながら、松本駅に戻る。	NIHON-GO Survival	縄手通りの土産物店でマンガに出てくる目的の場所の絵を見せながら「ここ、どこですか」と言って、場所を聞くときのフレーズを学習する。また、いま自分がいる場所がわからないときは、地図を見せながらこのフレーズを使うといいと補足を付けている。
			orange 写真をとろう！	マンガ『orange』に出てくる縄手通り、中の橋、幸橋、蔵シツク館、花時計公園の絵と写真を載せている。
11	STAGE5 QUIZ			
12	STAGE6 (動画)	緑豊かな公園（あがたの森公園）に向かう。散歩をしながら、写真を撮る。目当ての場所でツーショットの写真を撮ってもらう。	NIHON-GO Survival	あがたの森公園で通りすがりの人に「すみません、写真お願いします」と言って、写真撮影を依頼するときのフレーズを学習する。また、同じフレーズを使用する応用場面としてホテルのフロントに依頼する場面と回転寿司店で寿司職人に直接食べたい寿司を注文する場面を設けた。
			orange 写真をとろう！	マンガ『orange』に出てくるあがたの森公園内の道、ベンチ、東屋の絵と写真を載せている。
			Tourist Spot Links	「あがたの森公園」の情報にアクセス。
13	STAGE6 QUIZ			
14	STAGE7 (動画)	タクシーに乗って、きれいな夕陽が見られる小高い丘（弘法山古墳）に向かう。夕陽をみながら、旅のフィナーレを迎える。	NIHON-GO Survival	タクシーの運転手に「弘法山までお願いします」と言って、運転手に行き先を告げるときのフレーズを学習する。
			orange 写真をとろう！	マンガ『orange』に出てくる弘法山の絵と、撮影した写真を載せている。
			Tourist Spot Links	「弘法山」の情報にアクセス。
15	STAGE7 QUIZ			
16	Questionnaire			

3.3 学習シナリオの例

ここではストーリーとコーナーがどのように組み合わせたり、どのようなタイミングでアニメーションの切替となるのか、受講者がどのように学習するのかについて、3つのコーナーを1つずつ組み入れている STAGE6を例として表3に紹介する。

表3 STAGE6のストーリーとコーナーの組み合わせおよび学習シナリオ

ストーリー	
	<p>二人は「あがたの森公園」に行く。マンガと同じ場所で自撮り棒を使って写真を撮るも、顔しか映ってない。景色を背景にした自分たちの写真を撮る方法はないかと思っているところに通行人がやってくる。</p> <p><アニメーションの切替と受講者の学習方法> 発話者とセリフ（日本語・タイ語）が書いてある吹き出しが出て、その後で音声が出る。受講者は、音声を聞きながらスクリプトを読む。音声が終わったタイミングで次の吹き出しが出る。受講者の読む速度に配慮している。</p>
コーナー「NIHON-GO Survival」	
	<p>「NIHON-GO Survival」 道中遭遇する日本語使用場面で、使用するフレーズを学習するコーナーである。</p> <p>テーマ：6. しゃん おねがいします。 * 「しゃん おねがいします」がここで受講者が学習するフレーズである。</p>
	<p><アニメーションの切替と受講者の学習方法> このマークが出ると、「すみません、写真お願いします」という音声が出る。学習者はその後続いてリピートする。(先の音声と同じ時間分をポーズとして空けている)。その後、2回目の音声が出る。学習者はシャドーイングをし、さらにリピートすることができる。(ここでも、先の音声と同じ時間分をポーズとして空けている)。等間隔で、音声→ポーズ→音声→ポーズとなる流れである。</p>
	<p>「すみません、〇〇お願いします」というフレーズの使用想定場面を他にも紹介する。まず、ホテルのフロントに何かを依頼する場面である。モーニングコール、タクシー、荷物という語彙を〇〇に代入して練習する。</p> <p><アニメーションの切替と受講者の学習方法> このマークが出ると、まず「モーニングコール」という語彙が流れる。要領は前の「すみません、写真お願いします」と同様である。</p>
	<p><アニメーションの切替と受講者の学習方法> 語彙のところのマークが消え、「Phrase」のところ、マークが出る。次は、「すみません、モーニングコールお願いします」と音声が出る。要領は前と同様である。</p> <p>* STAGE6 では、他にも回転寿司店で食べたい寿司を職人に注文する場面も設けている。</p>

<p>ストーリー</p> <p>写真を撮ってもらった二人は、マンガと同じ場所の撮影スポットで次々と写真を撮る。 STAGE6のストーリーはここまでである。</p>	
<p>コーナー「orange 写真を撮ろう！」</p>	
 <p>orange 写真を撮ろう! ถ่ายรูปตามพรหมลิขิต orange ฟิล์ม! orange RINICHI TAKANO</p>	<p>「orange 写真を撮ろう！」 マンガに出てくる場所で写真を撮るという 旅のスタイルを紹介するコーナーである。</p> <p><アニメーションの切替と受講者の学習方法> まず、マンガの部分を出す。受講者にはじっくり作品を見てもらえる よう10秒間表示する。次に写真を出す。こちらも10秒間表示する。</p>
 <p>©Shigeo Takano 2012 Originally published in Japan 2013 by FUTANASHI PUBLISHERS LTD, Tokyo</p>	
<p>コーナー「Tourist Spot Links」</p>	
 <p>Tourist Spot Links</p>	<p>「Tourist Spot Links」 松本の観光に関わる情報（タイ語・英語）を 松本市公式観光情報ポータルサイトの URL と QR コードを付けて 紹介するコーナーである。</p> <p>*このコーナーでは、松本市のマスコットキャラクター 「アルプちゃん」⁽⁶⁾ を使用している。</p>
 <p>アルプちゃん Alps Character Park http://www.city.matsumoto.nagano.jp/content/003-01/index_00429.html</p>	<p><アニメーションの切替と受講者の学習方法> サイトの QR コードと URL を表示している。 受講者がスマートフォンを操作してアクセスするための時間や、メモ をとるために一時停止をする際に慌てないですむように、10 秒間の 時間を設けている。</p>

4. 運用状況と修了者による評価

本コースは、2018年3月30日から受講受付を開始し、2018年10月31日現在、受講者は226名、修了者は48名、修了率は約21.2%である。

受講者226名の内訳は、住んでいる国・地域で見ると、タイは170名であった。次いで、日本が21名、台湾とマレーシアが5名と続く。その他、南米、ヨーロッパ諸国からの受講もあった。また、年代別に見てみると、2000年以降に生まれた受講者は44名、1990年代に生まれた受講者

は52名、1980年代も52名、1970年代以前は42名、不明が36名だった。各年代別の受講者数に大きな差異はなかった。

修了者48名の内訳は、住んでいる国・地域で見ると、タイが43名でほとんどを占めた。そのうち24名が2000年以降に生まれた受講者であった。

また、ステップ1～15で学習した後、ステップ16の「Questionnaire」に、この48名が回答した(表4)。「コースの満足度」については、「とても満足」が30名、「まあ満足」が16名、「どちらともいえない」が2名であった。コースのコンセプトに掲げた「マンガの舞台探訪」や、「日本語でのコミュニケーション」に加え、キャラクターや写真といった素材も高い評価を得た。一方で、日本語音声の速度や、BGMの音量に対して改善を求めるコメントも見られた。

なお、今後、開発するコースのテーマを決める上で参考とする目的で設定した「日本の何に興味があるか」との問いに対しては、「歴史遺産」、「自然」、「和食」を選択した人が多かった。自由回答欄には、「タイ人がまだ行っていないようなところを取り上げてほしい」、「文化、生活、食などについても知りたい」というコメントがあった。

表4 ステップ16「Questionnaire」の質問項目と修了者からの評価

Q1 このコースはどうでしたか。(五肢択一)				
<input type="checkbox"/> とても満足 <input type="checkbox"/> まあ満足 <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> やや不満 <input type="checkbox"/> とても不満				
とても満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	とても不満
30	16	2	0	0
Q2 理由を教えてください。(自由回答)				
プラス面	マンガのテーマだったので楽しく勉強できた／言語と文化を学ぶことができた／遊びながら勉強ができた／文法やフレーズが簡単なので覚えやすい／観光の時に使えるフレーズを学ぶのにいいコースだった／次に日本を訪問するときは松本に行きたい／観光ツアーのモデルとしていい／日本の他の場所を訪れる時にも応用できる／キャラクター(くまたん・うさみちゃん)がとてもかわいい／写真が美しいなど			
マイナス面	話すスピードが遅すぎる／音楽が大きすぎて聞き取れなかった			
Q3 日本の何に興味がありますか。(複数回答可)				
<input type="checkbox"/> 歴史遺産 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 和食 <input type="checkbox"/> マンガ・アニメ <input type="checkbox"/> 音楽				
歴史遺産	自然	和食	マンガ・アニメ	音楽
36	34	32	24	14
Q4 その他(自由回答)				
タイ人がまだ行っていないようなところを取り上げてほしい。 文化／日常生活／学生生活／日本食などについて知りたい。				

5. 今後の展望

本コースの受付期間が終わり、受講者総数や修了者数、修了者からの評価が得られた。表4のQ2のコメントからは、「自学自習が継続できる内容」と「実際の日本語使用場面をイメー

ジしながら練習ができる内容」という開発方針のために工夫したことが受講者に受け入れられたと感じ取っている。しかし、未修了者が80%近く出たというのも事実であり、コースの改善への検討は免れない。

まず、今後も一定の受講者を獲得しながら、本コースを継続的に運営していくには、「みなと」の新規登録者⁷⁾を増やすことが必要だと考えている。中等教育をはじめとする日本語教育の現場で「みなと」のコースを活用することで、教師と学習者双方にメリットが生じるようなアイデアを提案し続けていきたい。

[注]

- ¹⁾国際交流基金 (2013) において、タイ人の日本語学習目的は「日本語そのものへの興味」(92.7%)、「日本語でのコミュニケーション」(80.9%)、「マンガ・アニメ・J-POP 等が好きだから」(74.8%)であった。
- ²⁾タイの出版社「BONGKOCH COMICS」より、タイ語の翻訳出版がされている。
- ³⁾「orange 松本 Location MAP」(制作：松本観光コンベンション協会)
- ⁴⁾「タイ人のライフスタイルと海外旅行調査」(JTB 総合研究所)によると、タイ人旅行者が旅行体験を旅先から発信する発信形態は「写真・画像」が97.2%。旅行の情報源は、「SNSの投稿」(56.7%)が「ポータルサイトで検索」(61.9%)、「友人や家族の体験談」(58.5%)に次いで3位である。「いいね」をしたくなる投稿は、順に「旅行先の風景や食べ物写真」(男性86.0%/女性77.9%)、「友人の旅行先での体験シーン」(男性62.4%/女性63.1%)である。
- ⁵⁾無料イラスト素材サイト「イラストAC」に登録しているイラストレーター「ふらっぺ1028」様より、利用と加工の許可を得ている。
- ⁶⁾松本市のマスコットキャラクター「アルプちゃん」は、松本市より使用の許可を得ている。
- ⁷⁾2018年10月終了時点で、タイ国内の「みなと」登録者は2,313人。

[参考文献]

- 国際交流基金 (2013) 『海外の日本語教育の現状 2012年度日本語教育機関調査より』、くろしお出版
- 国際交流基金 (2017) 『海外の日本語教育の現状 2015年度日本語教育機関調査より』
<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/result/dl/survey_2015/text.pdf>
(2018年11月16日)
- 国際交流基金「日本語教育 国・地域別情報 タイ (2016年度)」
<<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2016/thailand.html>>
(2018年11月16日)
- JTB 総合研究所「タイ人のライフスタイルと海外旅行調査～今後1年以内の日本への観光旅行予定者への調査～」<<https://www.tourism.jp/tourism-database/survey/2015/09/thai-lifestyle/>> (2018年11月22日)
- 武田素子・熊野七絵・千葉朋美・笠井陽介・石井容子・前田純子・北口信幸 (2017) 「『まるごと (A1) 日本語オンラインコース』サイトの開発」『国際交流基金日本語教育紀要』13、133-140
- 千葉朋美・武田素子・廣利正代・笠井陽介 (2018) 「『まるごと (A1) 教師サポート付きコース』の運用と成果—オンラインコースにおける学習者支援—」『国際交流基金日本語教育紀要』14、51-66
- 日本政策投資銀行・日本交通公社「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (平成28年版)」<http://www.dbj.jp/pdf/investigate/etc/pdf/book1610_01.pdf> (2018年11月22日)
- 双葉社 アクションコミックス「高野莓「orange」特設サイト」
<<http://www.futabasha.co.jp/introduction/orange/pc/>> (2018年11月20日)